職場だより

**岐阜県教職員組合 情報**

発行

.

.

多い！岐阜県の非正規教職員

**１　岐阜県の非正規教職員の現状は・・・以下の資料を見てください。**

　組合では、毎年県教委に様々なデータを出してもらい、岐阜県の教職員の状況や子供たちの教育条件を調査したうえで、県教委などとの交渉をおこなっています。以下は、データの一部です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| H30年度(5/1現在) | 正規教員数 | 常勤講師数 | 当初非正規率 | **非正規率** | 新規採用者数 | 再任用者数計 | 60歳超常勤講師数 |
| 当初欠員 | その他常勤 |
| 小学校教諭(※１) | **5283** | **298** | **405** | **5.3%** | **11.7%** | **274** | **84** | **155** |
| 中学校教諭(※１) | **3185** | **153** | **182** | **4.6%** | **9.5%** | **163** | **48** | **50** |
| 高校教諭(※１) | **2720** | **183** | **109** | **6.3%** | **9.7%** | **114** | **109** | **45** |
| 特支教諭(※１） | **1039** | **350** | **115** | **25.2%** | **30.9%** | **66** | **17** | **16** |
| 養護教諭（小中） | **490** | **62** | **44** | **11.2%** | **17.8%** | **18** | **11** | **3** |
| 養護教諭（高校） | **80** | **13** | **10** | **14.0%** | **22.3%** | **2** | **0** | **1** |
| 実習教諭・助手 | **224** | **80** | **8** | **26.3%** | **28.2%** | **17** | **16** | **14** |

　※１は、養護･栄養教諭・助手を除く

これを見て、どう思われますか？非正規率がとても高いと思いませんか？

**２　どうして、こんなに非正規教職員が多いのか**

　実は、教職員に限らず、公務員には非正規の方が必要になります。産休・育休や病休、あるいは現職で亡くなられる方の代替が必要だからです。それが、上表の『その他常勤』。

　**問題は、『当初欠員』です。**これは、**本来は正規教職員を採用して配置とすべきところを、非正規の常勤にしているのです。**岐阜県だけでなく、全国で非正規教職員が増加したきっかけは、かつての小泉政権下で推進された三位一体の改革にあります。この改革の中で、**国として負担が大きい教員の給与を、何とか減らしたいと考えたのです。**その結果、２つのことが決まりました。

　一つは、**「総額裁量制」**－国から県に渡される**教職員の給与は、各県が特色ある教育を行うなど、給与支払い以外にも使って良い**ことになりました（2004年から）。その結果各県は、例えば『教員の加配をおこないたい』として、正規教職員の採用数を減らして、浮いた分で、安い給与の非正規教職員を多く採用しました。

　もう一つが、**国が負担する教職員の給与を、２分の１から３分の１に減らすことです**（2006年から）**。**逆に、県の負担は２分の１から３分の２に増えました。その結果、他の予算を削って教員の予算を増やしたくない県は、正規教職員の採用を減らして、非正規化を進めました。

**３　非正規教職員の待遇改善は進むのか**

臨時・非常勤職員の方には保障されていない権利もあり、適正な任用・勤務条件確保のために**「会計年度任用職員制度」**が2020年度から導入されることになっています。非正規教職員の待遇が改善される大きなチャンスとしてとらえ、組合は交渉していきます。